

2016年12月19日

各 位

会社名	キヤノン株式会社
代表者名	代表取締役会長 CEO 御手洗 富士夫
コード番号	7751
上場取引所(所属部)	東京、名古屋(以上第一部) 福岡、札幌
問合せ先	連結経理部 部長 清水 栄次 (TEL.03-3758-2111)

東芝メディカルシステムズ株式会社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ

キヤノン株式会社(以下「キヤノン」)は、東芝メディカルシステムズ株式会社(以下「TMSC」)の株式取得について、所要の競争法規制当局のクリアランス取得が完了したため、株式会社東芝との2016年3月17日付株式等譲渡契約書に基づき取得した新株予約権を行使してTMSCの株式を取得し、TMSCを子会社化することを本日開催した取締役会で決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 取得の理由

キヤノンは2016年より推進する新5カ年計画「グローバル優良企業グループ構想」フェーズVにおいて、「戦略的大転換を果たし、新たな成長に挑戦する」ことを基本方針としております。特に重要な戦略と定めている「新規事業の強化拡大と将来事業の創出」において、「安心・安全」領域におけるヘルスケア事業を次世代の柱の一つとして成長させたいと考えております。

TMSCは、医療機器業界においてグローバル大手有力企業の一つであります。特にコンピューター断層撮影装置(CT)システムにおいては日本で圧倒的首位にあり、グローバルにもシェアを確実に高めております。加えて、X線診断システム、磁気共鳴画像装置(MRI)システム、超音波診断システム、核医学診断システムまでをカバーする業界随一の幅広い製品群を有しております。また、最先端の医療画像ソリューションや個別化医療に向けた体外診断事業にも取り組んでおります。

今回、世界トップクラスの技術力及びグローバル・プラットフォームを有するTMSCをキヤノングループへ迎え入れることといたしました。双方の経営リソースを最大限組み合わせることで、世界に貢献できるヘルスケア事業基盤を強固なものにしていきたいと考えております。

今回の TMSC の連結子会社化により、下記を中心とした効果を期待しております。

1) 新分野への進出の加速

キヤノン及び TMSC が有する経営リソースを最大限活用することで、TMSC が強みを持つ画像診断をコアに、M&A を含めた戦略投資を通じ、体外診断事業及び次世代医療 IT などのさらなる事業強化、バイオメディカル事業の強化を推進することが可能であると考えております。また、キヤノンが有するビジネスポートフォリオやパートナーシップを活用することで、医療機器分野において更なる飛躍をしていくことを期待しております。

2) 生産技術の共有による更なる品質向上

高い生産技術を有するキヤノンと、製品開発に優れた TMSC が手を組むことで、精密設計・微細加工技術の提供、生産体制の最適化、品質向上への協働を通して TMSC の製品力のさらなる強化を期待しております。市場において価格競争力のある製品の販売を実現するだけでなく、経営の効率化によって創出した資金を次世代医療機器への開発投資へと循環させ、ヘルスケア事業を発展させてまいります。

3) 開発力強化による事業領域の拡大

キヤノンは独自の X 線高速動画センサー技術をはじめとするイメージングデバイス及びその要素技術、国家プロジェクト(ImPACT)に選ばれた光超音波トモグラフィー技術や医療用ロボットシステム技術、低侵襲技術などを有しております。このキヤノンの持つ技術と TMSC が有する研究開発力を生かし、共に技術開発を進めていくことで、今後、グループとして革新的な新製品やサービスをグローバルに提供していくことを期待しております。

2. 取引の概要

1) 異動する子会社の概要

(1) 名 称	東芝メディカルシステムズ株式会社	
(2) 所 在 地	栃木県大田原市下石上 1385 番地	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 瀧口 登志夫	
(4) 事 業 内 容	医療用機器(X 線診断システム、CT システム、MRI システム、超音波診断システム、放射線治療装置、核医学診断システム、検体検査システム、ヘルスケア IT ソリューション など)の開発、製造、販売、技術サービス	
(5) 資 本 金	20,700 百万円	
(6) 設 立 年 月 日	1948 年 9 月 23 日	
(7) 大株主及び持株比率	MS ホールディング株式会社	100%
(8) TMSC の主な子会社	東芝メディカルシステムズ・ヨーロッパ、東芝アメリカメディカルシステムズ	

(9) 当社と当該会社との関係			
資本関係	該当ありません。		
人的関係	該当ありません。		
取引関係	キヤノンはX線画像診断機器用センサーを供給しています。		
(10) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態(単体)			
決算期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
純資産額	56,388百万円	70,432百万円	63,471百万円
総資産額	190,110百万円	196,170百万円	249,789百万円
1株当たり純資産	417.75円	521.80円	
売上高	287,126百万円	279,967百万円	291,310百万円
営業利益	22,279百万円	17,700百万円	8,223百万円
経常利益	31,953百万円	22,190百万円	21,610百万円
当期純利益	22,924百万円	15,849百万円	16,378百万円
1株当たり当期純利益	169.83円	117.42円	
1株当たり配当金	45.90円	51.10円	

2) 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数:0個)、(議決権所有割合:0.0%)
(2) 取得株式数	134,980,000株 (議決権の数:134,980,000個)
(3) 取得価額	約6,655億円(1)
(4) 異動後の所有株式数	134,980,000株 (議決権の数:134,980,000個)(議決権所有割合:100.0%)

(1)キヤノンは、取得価額の算定において、TMSCの事業内容などについて検討を重ね、フィナンシャルアドバイザーである、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社からの助言を参考にし、この取得価額が妥当なものと判断いたしました。

3) 異動の日程

取締役会決議日	2016年3月17日
契約締結日	2016年3月17日
普通株式取得日	2016年12月19日

3. 今後の見通し

キヤノンの業績に与える影響については、今後業績予想修正の必要性及び公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上